

[WG名]
生成系AIを活用したビジネス挑戦プラットフォームによる企業・個人価値創出WG

[補助事業名]
**企業の挑戦及び個人の挑戦創出を目的としたプラットフォーム構築
 ～生成系AIを活用したワークエンゲージメントを高めることによるDX基盤強化～**

[幹事企業名]
株式会社リリフル

[WGメンバー]
**株式会社アルジェブラテクノロジーズ
 株式会社艶金
 情報科学芸術大学院大学 (IAMAS)**

01 事業概要

本事業では、企業と個人の挑戦創出を目的としたプラットフォーム構築を進めています。生成AI技術を活用した対話型サービスを検討し、個人の「ありたい社会」や「ありたい自分像」を起点に、働く人の挑戦を支援します。また、実証実験先企業での活動を通じ、企業内の挑戦者や企業の挑戦を明らかにし、プラットフォーム構築に必要な知見を獲得します。将来的に、個人の挑戦を企業の挑戦と統合し、新たなイノベーションの推進力を創出することを目指します。

02 実施内容

<サービス開発>

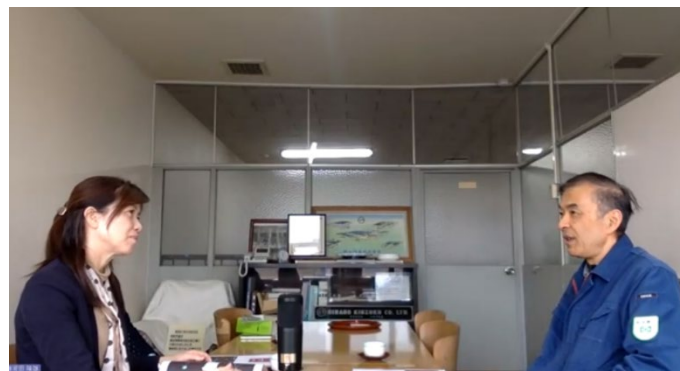
- ・サービスコンセプト定義完了
- ・サービス基本要件定義完了
- ・非会員画面 (LP) を制作

<実証実験企業の経営者インタビュー>

- 地域挑戦企業を対象に、企業や個人の挑戦を理解、知見を獲得するためにインタビューを実施。
- ・挑戦者背景 (生育歴、価値観など)
 - ・挑戦者歴史 (挑戦歴、誇り/苦悩など)
 - ・今後の会社を創る挑戦者候補人材
 - ・挑戦者ビジョンとこれから



サービスLP



(株)リリフル × (株)艶金 インタビューの様子

03 検証項目とその結果

- 【結果】**
- ・企業内に経営者も把握していない挑戦候補人材が存在することが明らかになった。
 - ・挑戦の進化プロセスとして「ビジョン定義 → 調査 → 行動 → 思考」のサイクルが重要であることが分かった。
-
- ◎企業・個人の挑戦に関する検証
- 株式会社艶金
 挑戦候補人材：1名
 挑戦知：会社のビジョンは理解しているものの、次の挑戦に対する具体的なイメージが持っていない状況にある。
- 株式会社リリフル
 挑戦候補人材：1名
 挑戦知：やりたいことはあるが、その進め方が分からず悩んでいる。
- ◎コミュニケーションデザインの研究
- 「【理想の世界】の実現に向け、【価値観】に基づき、【やりたいこと】に対して【才能】を活かす」という自己理解を深めるためのコミュニケーションフローを、インタビューや企画を通じて明らかにした。

04 今後の展開

次年度から大企業や学校も含め実証実験企業先を増やし、プロダクトを確立させ、企業価値創造の加速と挑戦する人材の創出を目指す。



- ◆事業終了時 (2026年) に目指す効果
- ・実証実験企業から新規事業もしくはDX事業の創出：1件 × 4社
 - ・実証実験企業からビジネスリーダーの輩出：従業員数 × 5%/1社
 - ・プラットフォームの個人登録者数：100名以上
 - ・岐阜県初の挑戦プラットフォームとして正式リリース